

ワンセグ対応 地上デジタルテレビ チューナー

取り付けと接続

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 本機は、安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故の原因となります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品
の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお
読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになった
あとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

販売店様へのお願い
本機の取り付け後、この「取り付けと接続」は、
必ずお客様へご返却ください。

XT-DT1

© 2007 Sony Corporation Printed in Japan

警告 安全のために

警告表示の意味

「取り付けと接続」および取扱説明書では、次のような表示をしています。
表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより
死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故に
よりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあり
ます。

注意を促す記号



下記の注意を守らないと**火災・感電**に
より**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けには専門知識が必要です。
万一、ご自分で取り付けるときは、「取り付けと
接続」の説明に従って、正しく取り付けくださ
い。正しい取り付けをしないと、火災や感電
の原因となります。



指示



24V車に使用しない

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車な
ど、24V車で使用すると火災などの原因とな
ります。



禁止



エアバッグシステムの動作を妨げる場所には取り付けけない

動作を妨げる場所に取り付けると、
エアバッグが正常に動かず、けがの
原因となります。



禁止

前方の視界を妨げる場所に取り付けけない

前方の視界の妨げになると、事故や
けがの原因となります。



禁止

規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ず
ヒューズに記された規定容量のアン
ペア数のものをお使いください。規
定容量を超えるヒューズを使うと、
火災の原因となります。



指示

雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けけない

上記のような場所に取り付けると、
火災や感電の原因となります。



禁止

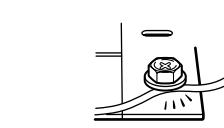
運転操作の妨げや車体の可動部の妨げになる場所に取り付けけない

運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げに
なる場所に取り付けや配線をする、事故や感
電、火災の原因となります。

- ネジやシートレールなどの可動部にコード類
をはさみ込まない。
- コード類はまとめ、
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダ
ルなどが正しく操作できることを確認する。



禁止



商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

● <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル 0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は...03-5448-3311

(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)

● FAX 0466-31-2595

受付時間：月～金 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00

お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

2R6P12A43900



下記の注意を守らないと**けが**をしたり
自動車に損害を与えたりすることがあります。

不安定な場所に取り付けけない

振動の多いところや、天井などに取り付ける
と、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけ
がの原因となる場合があります。



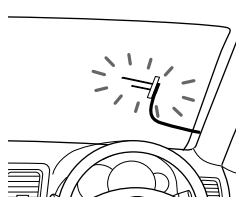
禁止



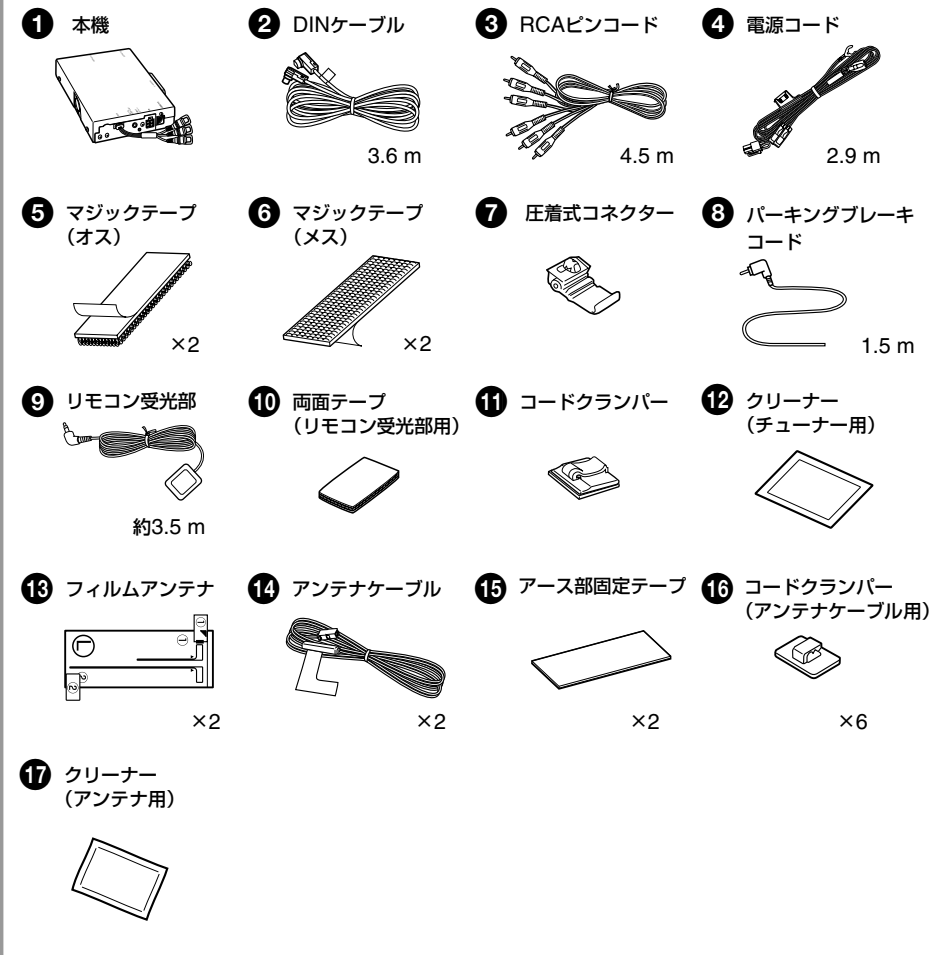
禁止

フィルムアンテナを前方の視界を妨げる場所に取り付けけない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因
となる場合があります。「取り付けと接続」の説
明に従って正しい場所に取り付けてください。



取り付け部品の確認 (付属品)



1 接続する前に

- 本機は別売ソニー製HDD AVナビシステム NVX-Z555またはAV端子のあるモニター/ナビゲーションへ接続できます。
- この「取り付けと接続」に記載されている取り付け、接続先の機器は、付属品を除きすべて別売り品です。接続の際は、必ず接続先の機器に付属の説明書も併せてご覧ください。
- 別売り品の仕様については、お客様ご相談センターまたはお買い上げ店にご相談ください。
- 他のアンテナケーブル、RCAピンコード、および電源コードの各コードは、できるだけ離して配置してください。ノイズの原因となります。
- コード類を外すときは、コネクタ部分を持って抜いてください。コードを引っ張ると、コードが抜けてしまうことがあります。

AV端子のあるモニター/ナビゲーションに接続する場合、次のコードは必ず接続してください。
接続しないと、故障の原因になり、正しく動作しないことがあります。

- 黒色コードを車体の金属部分へ接続する。
- 赤色コードを車両側のアクセサリ (ACC) 電源へ接続する。
- パーキングブレーキコードを車両側のパーキングブレーキスイッチコードに接続する。

ご注意

- フィルムアンテナは他のアンテナから離して取り付けてください。
- パーキングブレーキスイッチコードに接続しないと、設定や登録などの複雑な操作ができなくなります。
- アクセサリ (ACC) ポジションの ない車には取り付けられません。

ヒューズについて

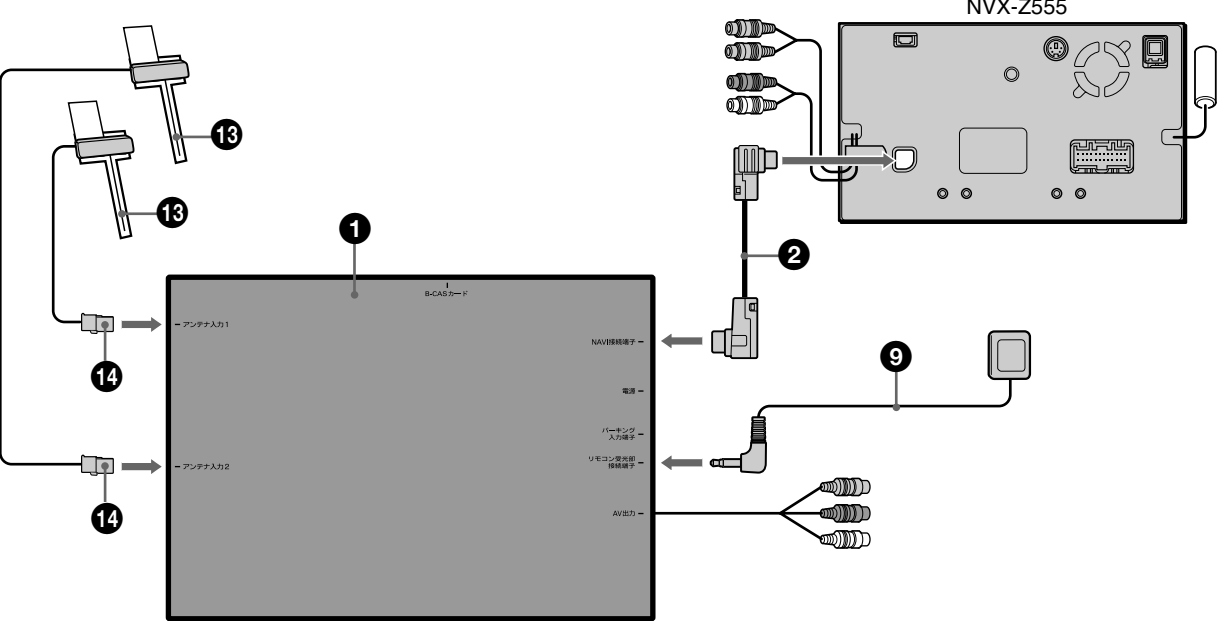
本機のアクセサリ (ACC) 電源用コード (赤色) を接続する前に、本機のヒューズ容量が車両側の
ヒューズ容量 (ラジオまたはオーディオ電源) より小さい値であることを確認してください。判断が
難しい場合は、お買い上げ店にご相談ください。

電源配線について

車種によっては、車両側の配線が細い (電流容量不足) ため、エンジンアイドリング時にライトやエ
アコンを動作させると、正常に動作しないことがあります。この場合は、お買い上げ店にご相談く
ださい。

2 接続する

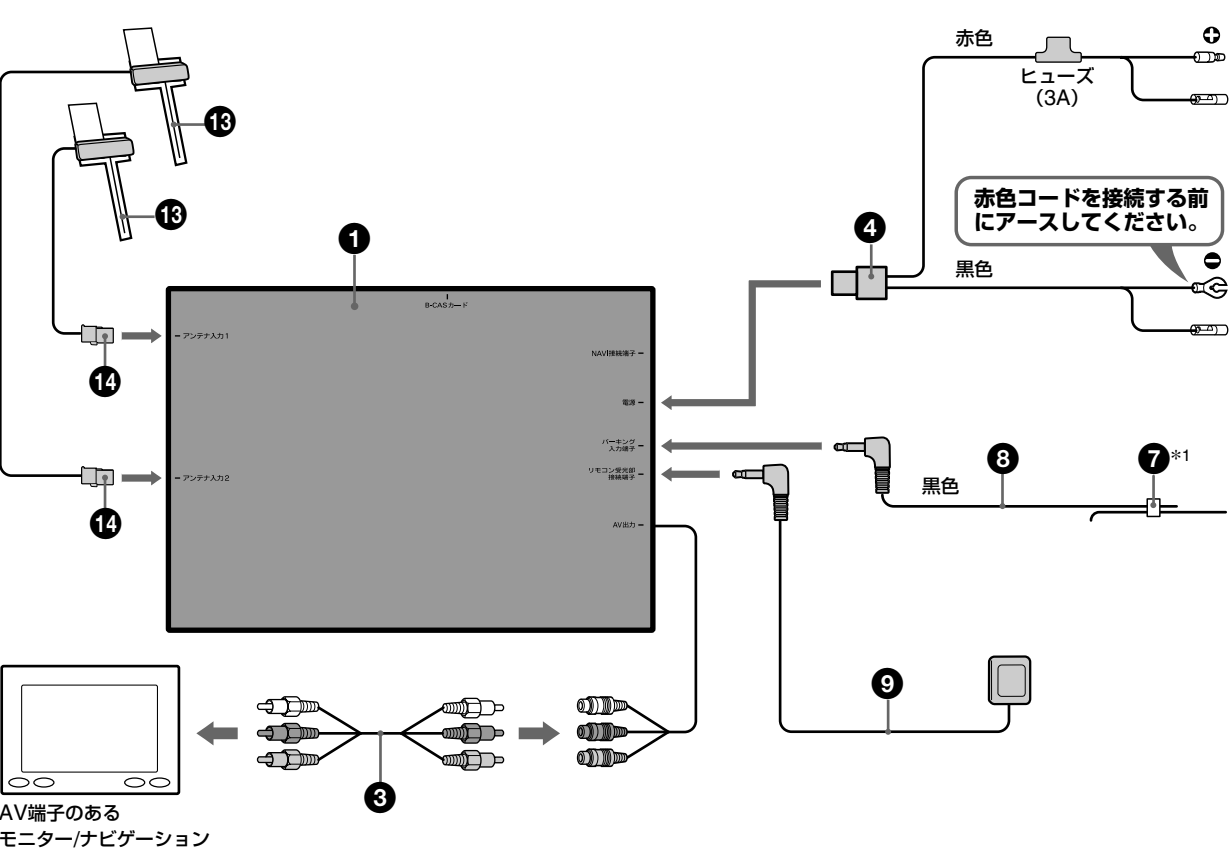
NVX-Z555に接続する



ご注意

DINケーブル②でNVX-Z555に接続する場合は、電源コード④は使用しない。
接続するとバッテリーがあがらる恐れがあります。

AV端子のあるモニター/ナビゲーションに接続する



AV端子のある モニター/ナビゲーション

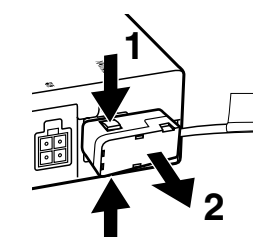
ご注意

- 接続コード、電源コードなどの各コードは、できるだけ離して取り付け、設置してください。接近
した状態で設置すると、本機の画面が乱れることがあります。
- コピーガードがかかっている番組は録画機器を経由してモニターで視聴すると正常に表示できない
ことがあります。コピーガードがかかっている番組を視聴する場合は、録画機器を経由しないで直
接本機とモニターなどを接続してください。

各コネクタの脱着のしかた

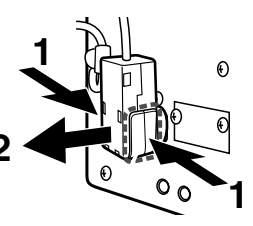
DINケーブル② (本機側)

1の突起部を押しながら、2の方向へ引っ張ります。



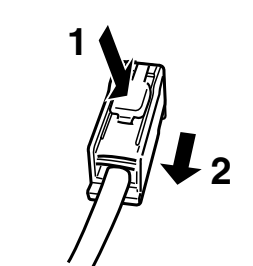
DINケーブル② (NVX-Z555側)

1の部分を持ち、2の方向へ引っ張ります。



アンテナケーブル③

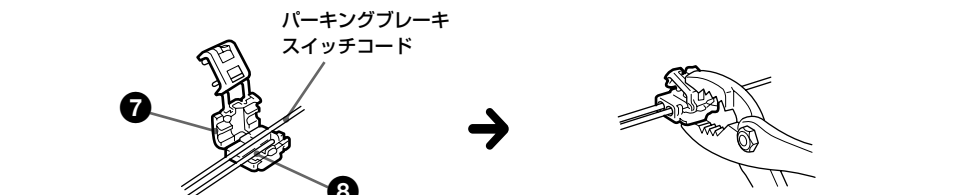
1の突起部を押しながら、2の方向へ引っ張ります。



パーキングブレーキスイッチコードを接続する

圧着式コネクタ⑦の使いかた

パーキングブレーキコード⑧の先端と車両側パーキングブレーキスイッチコードの先端を
圧着式コネクタ⑦に取り付けます。



ご注意

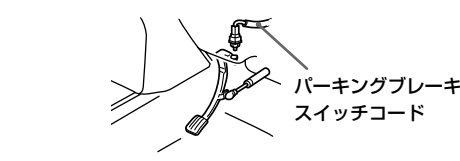
車両側パーキングブレーキスイッチコードが細い場合、接続が不十分になることがありますので注
意ください。

パーキングブレーキスイッチコードの位置

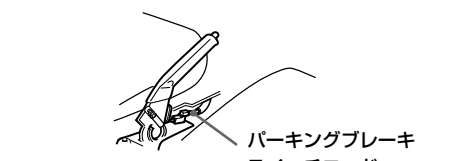
パーキングブレーキスイッチコードの位置は 車種によって異なります。下図は代表的な例ですが、詳
しくはお買い上げ店にご相談ください。

フロント映像出力に接続したモニターの映像は、停車中にパーキングブレーキを引いた状態でだけれ
ば出力されません。

パーキングブレーキがフットブレーキ
の場合



パーキングブレーキがハンドブレーキ
の場合



3 本機を取り付ける前に

取り付け場所

こんな取り付け場所はお避けください。

- 運転の妨げになるところ
- グローブボックスのふたの開閉や、灰皿の出し入れの妨げになるところ
- ほこりの多いところ
- 磁気を帯びたところ
- 直射日光やヒーターの熱風などが当たるところ
- 雨が吹き込んだり、水がかかると、湿気の多いところ

ビス・ナット類のご注意

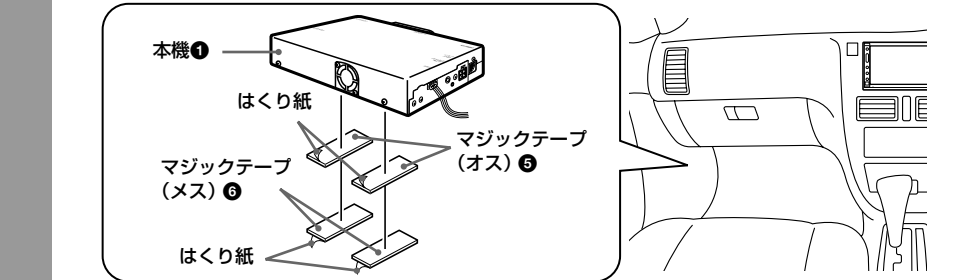
- 必ず付属のビス類をお使いください。
- ビスやナットを締めるとき、他の配線をかきまかないようにご注意ください。
- 車体のボルトやナットを使って共締めやアースをとるとき、ハンドルやブレーキ系統のものは絶対に使わないでください。
- 外したビス類は、小箱や袋に入れて紛失しないようにしてください。
- 外すビスの種類が多いときは、混同しないようにしてください。

4 本機を取り付ける

1 本機①を取り付ける

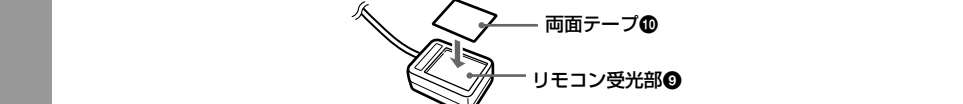
本機①の裏側にマジックテープ（オス）⑨と、本機を取り付ける場所（助手席の下など）にマジックテープ（メス）⑩のはくり紙をはがし貼り付け、本機を固定します。各ケーブルがとどく位置に設置できるか、あらかじめ位置を確認してから固定してください。

ご注意
本機①がブレーキペダルの下にはさまるといへん危険です。必ず助手席側に取り付けてください。

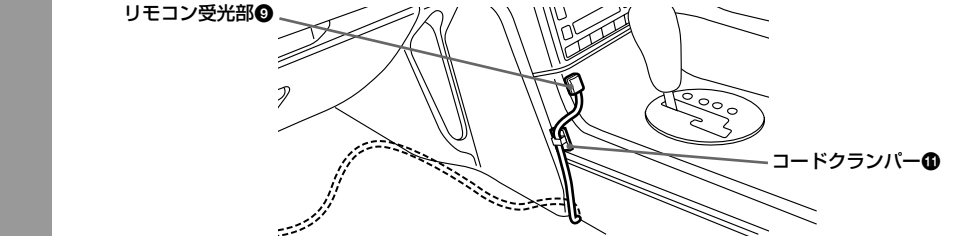


2 リモコン受光部⑨を取り付ける

1 リモコン受光部⑨の裏面をクリーナー（チューナー用）⑪で汚れや油分を拭き取り、両面テープ⑩を貼り付けます。



2 クリーナー（チューナー用）⑪で取り付け面の汚れや油分を拭き取り、運転の妨げにならない位置に取り付けてください。
リモコン受光部のコードは、必要に応じてコードクランパー①で固定してください。



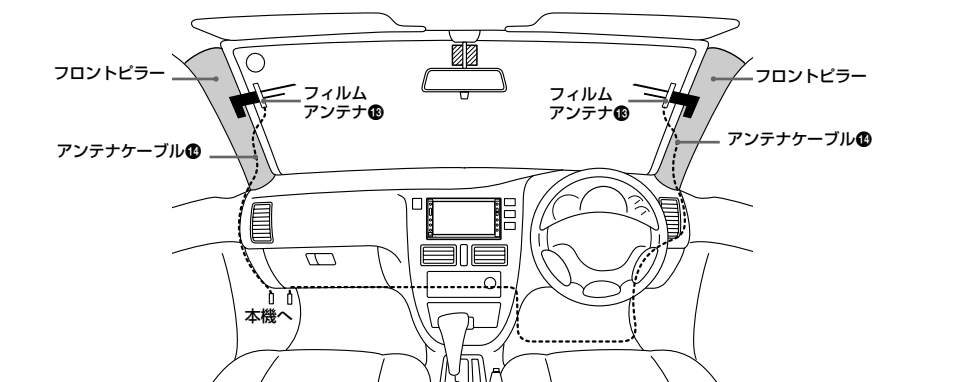
5 フィルムアンテナを貼り付ける前に

貼り付ける前に

- 貼り付け・配線をするためには、フロントウィンドウ周りの内装を一時的にとりはずす必要がありますので、ご了承ください。
- 車種によっては、取り付けられない場合があります。詳しくは、販売店にご相談ください。
 - ― 電波を通さないガラス（熱線反射ガラス、断熱ガラス、電波不透過ガラスなど）を使用した車両では、受信感度が著しく低下します。
 - ― フロントビラーにエアバックを搭載している車両には、取り付けられません。
- 水などでダッシュボードを汚さないように、布やシートなどで覆ってください。
- アンテナの表面保護用ビニールをはがしたあと、アンテナ貼り付け面には手をふれないでください。指紋やゴミが付着し取り除くことができません。
- フィルムアンテナは、はがれないようにしっかり取り付けてください。取り付け部の接着が弱いと、走行中にはがれて、事故やけがの原因になりますので、時々点検してください。
- 低温時は、フィルムアンテナの性質上、接着力が低下しますので、取り付け時は車内を常温に暖めてから作業を行ってください。
- 天気の良い日中に取り付けてください。雨、霧など湿気が多いときは、両面テープの接着力が低下し外れて事故やケガの原因となることがあります。

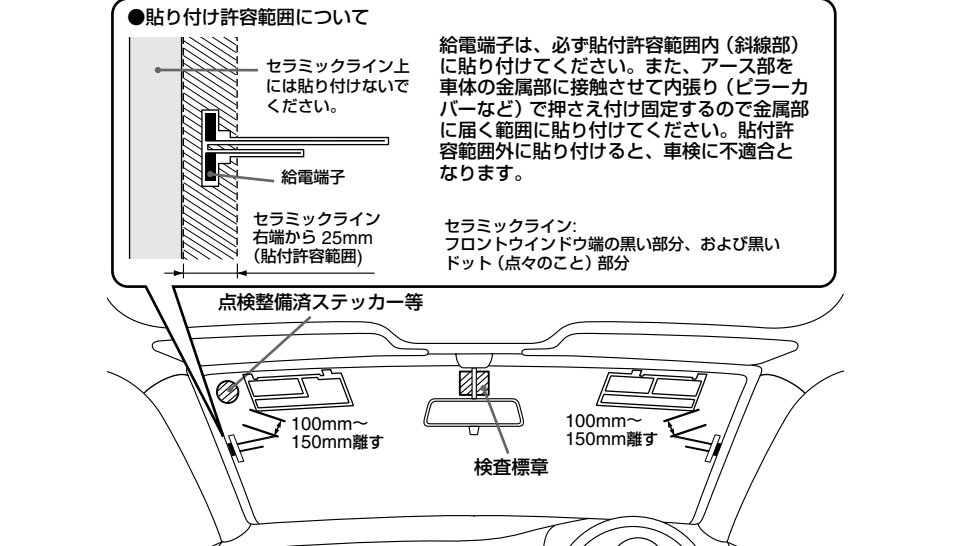
フィルムアンテナ⑬の貼り付け位置やアンテナケーブル⑭の引き回しなどを検討する

必ずケーブルおよびフィルムアンテナ⑬を仮止めし、アンテナケーブル⑭の引き回し等を十分に検討してから貼り付けてください。一度貼り付けると、貼り直しができません。



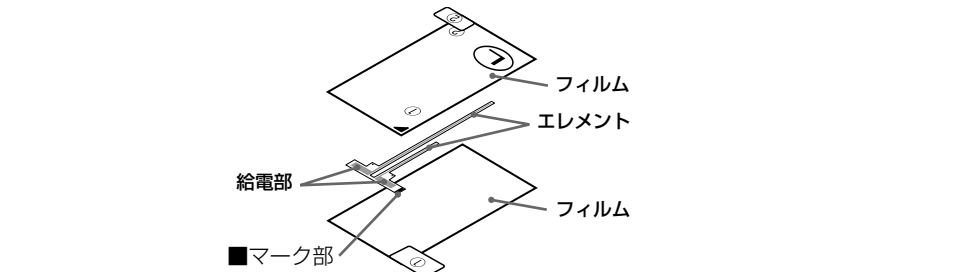
貼り付け位置について

- フィルムアンテナは、検査標章や定期点検ステッカーと重ならないように貼り付けてください。
- フロントウィンドウの指定位置に指定手法内で取り付けてください。
 - ― 下記「貼り付け許容範囲について」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。道路運送車両の保安基準第29条第4項第7号に適合させるため、また、性能を十分に発揮させるため、貼り付け許容範囲からはみ出さないように貼り付けてください。
 - ― 他のアンテナが取り付けがある場合は、妨害を防ぐため、他のアンテナが重ならないように100mm～150mm離して貼り付けてください。（下図参照）
 - ― 付属のフィルムアンテナはフロントウィンドウ専用です。リアウィンドウなど他の場所に取り付けしないでください。
 - ― 取り付け手順の中で、アースを取るために、フロントビラーの内張りをはずす必要があります。お客様自身が取り付けをされる際に、フロントビラーの内張りの取りはずし作業が困難な場合は、車のお買い上げ店やディーラーにお問い合わせください。（作業工費はお客様にご負担いただく場合があります。）
- 左ハンドル車の場合も、左右逆には貼り付けず、下図のとおりに貼り付けてください。



取り扱い上の注意点

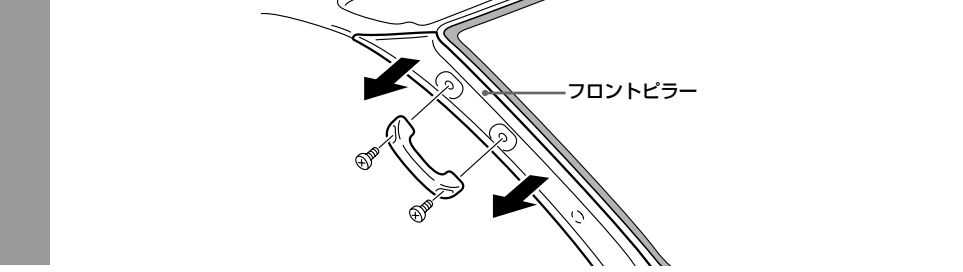
- フィルムアンテナを折り曲げたり、キズを付けたりしないでください。断線等により電波の受信が悪くなる場合があります。
- はくり紙やフィルムをはがした後は、貼り付け面に手をふれないでください。フィルムアンテナ⑬の透明シート、コードクランパー（アンテナケーブル用）①のはくり紙をはがした後は手をふれないでください。また、長時間の放置はしないでください。
- フィルムアンテナのフィルムや給電端子のはくり紙をはがした後は、給電部などに手をふれないでください。静電気による故障や汗や汚れなどで接触不良の原因となります。
- 貼り付けたあと、ガラスを拭くなどするときは、強くこすらないでください。また、シールやステッカーをはがし剤を使わないでください。破壊の原因となります。



6 フィルムアンテナを貼り付ける

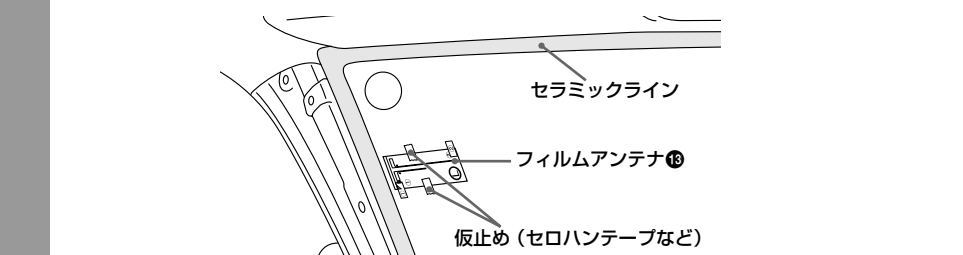
1 フロントウィンドウ両端のフロントビラー（内張り）を取りはずす

- ご注意**
 - フロントビラーの内張りはクリップやネジなどで固定されており、無理にはずすと、破損したり変形したりすることがあります。
 - お客様自身が取り付けをされる際に、フロントビラーの内張りの取りはずし作業が困難な場合は、車のお買い上げ店やディーラーにお問い合わせください。（作業工費はお客様にご負担いただく場合があります。）

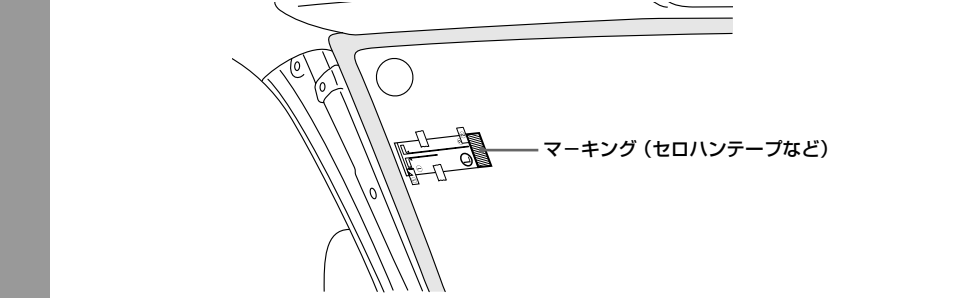


2 フィルムアンテナ⑬の貼り付け位置を確認する

1 フィルムアンテナの給電部を「貼り付け許容範囲について」に合わせ、セロハンテープなどで仮止めする。
ここではフィルムアンテナ⑬のはくり紙をはがさないでください。下図は車内側から見た左側の例です。右側も同様に貼り付けます。



2 フィルムアンテナ⑬の左右位置を、セロハンテープなどでマーキングする。



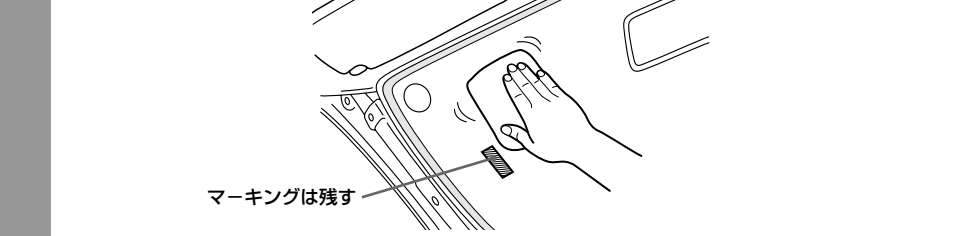
フィルムアンテナ⑬のエレメントを貼り付ける

マーキングは残して、仮止めしたフィルムアンテナ⑬を取り外してから行なってください。

エレメント貼り付けについてご注意

- 給電部横にある幅2mm程度の■マーク部はエレメントの移行を補助するためであり、この部分の裏面にはのりが付いていません。そのためエレメントがフロントウィンドウに移行後も浮いて見えることがありますが異常ではありません。また、この部分がフィルムをはがすときにフィルムに残ることがありますが、これは給電部と■マーク部の境目を意図的に弱くしているため（エレメント移行の失敗を防止するため）ですので異常ではありません。
- エレメントのはくり紙は、エレメントののりとフィルムののりの強さでバランスをとっていますが、エレメントが細いためまれに移行がうまくいかないことがあります。その場合は再度元の状態に戻し、エレメントの両端を強くこすり付けてからやり直してください。
- エレメント貼り付け直後（3時間以内）には貼り付けたエレメントにガラスクリーナー等を吹きつけたら、エレメントの上から直接ガラスを拭いたりしないでください。また、エレメント上を直接拭くときは時間にかかわらず、柔らかい布等を使用し、エレメントに傷が付かないよう注意してください。

1 フロントウィンドウの汚れ（ゴミ、油など）やくもり止めをクリーナー（アンテナ用）⑪で拭き取る。クリーナーはきれいに拭き取りフロントウィンドウは乾いた状態にしてください。



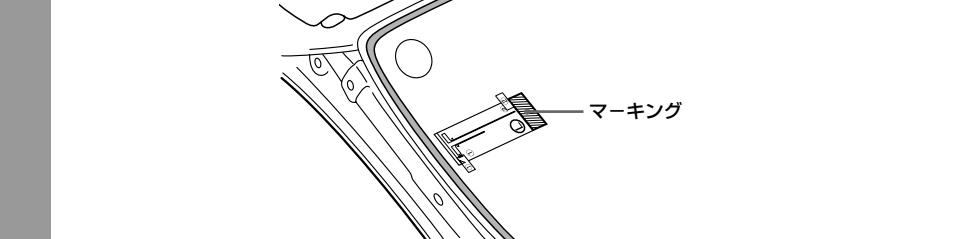
ご注意
フロントウィンドウが乾かないうちは貼り付けしないでください。エレメントがフロントウィンドウに貼り付かなくなります。

2 ①のタグ（黄色）を持ってフィルム⑬の▲マーク部からゆっくりとセパレーターをはがす。

- ご注意**
 - フィルムにエレメントが移っていることを確認しながらゆっくりとはがしてください。エレメントがセパレーター側に残った場合は、フィルムを元に戻してエレメント部分を強くこすり、再度セパレーターをはがしてください。（最初はフィルムに移っていても途中からセパレーターに残る場合もあります。その場合も同様にこすり直してからはがしてください。）
 - セパレーターを急にはがしたりフィルムを強く曲げたりするとエレメントが断線する恐れがあります。セパレーターをはがしたあとは、のり面（エレメント色黒色の方側）に指紋やホコリ等がつかないように注意してください。エレメントが貼り付かなくなります。

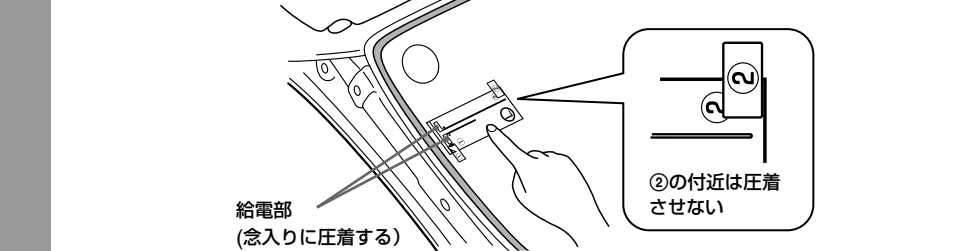
3 エレメントを貼り付ける。

- ご注意**
 - 車内から文字（①、②、③）が読めることを確認してからマーキング（セロハンテープ）に合わせ貼り付けてください。
 - 空気が入ったり、しわが寄ったりしないように端から貼り付けてください。
 - エレメントはセラミックライン部分にかからないようにしてください。セラミックライン部分には貼り付きません。
 - 一度エレメントがガラスに貼り付くと貼り直しはできませんのでご注意ください。
 - 位置が決まったら、マーキングをはがしてください。



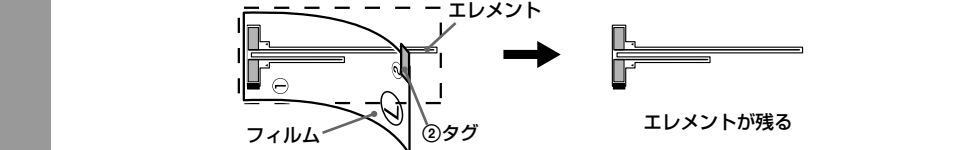
4 フィルムを全面貼り付けた後、エレメント部分を強く押さえしっかりと圧着させる。

- ご注意**
 - 給電部は気泡が残やすいので念入りに圧着してください。圧着不足になるとフィルムをはがす際にエレメントがはがれたり断線する恐れがあります。
 - フィルムの②のマーク（はくり紙）付近は、あまり圧着させないでください。（エレメントのない部分は極力圧着しないでください。次の作業ではがしにくくなります。）
 - 加圧はエレメント部分を中心にしてください。
 - 指での加圧が困難な場合は樹脂ヘラ等を使用してください。
 - フィルムをフロントウィンドウに貼り付けた状態で車外から貼付部に気泡が残っていないか確認し、残っている場合は再度その部分を加圧して気泡がなくなることを確認してください。



5 フィルムを②のタグ（▲マーク部）を持ってゆっくりとはがす。
エレメントがフロントウィンドウに転写されているのを確認しながらゆっくりとはがしてください。

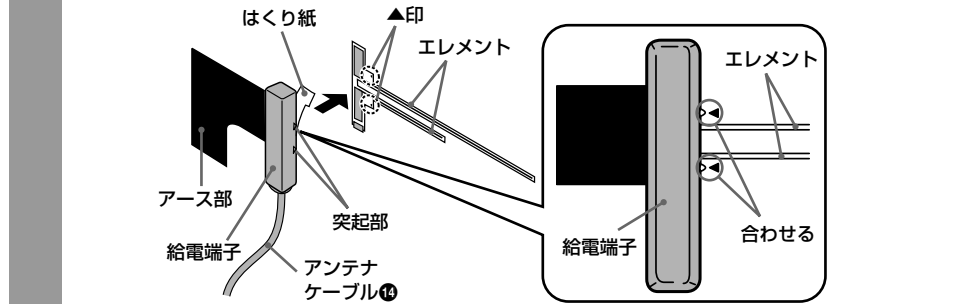
- ご注意**
 - ③のタグ以外のところよりはがさないでください。また、勢いよくはがすとエレメントが断線しますのでやめてください。
 - ③のタグからゆっくりとはがしてもフィルムと共にエレメントがはがれる（フロントウィンドウに転写されない）場合は、再度フィルムをフロントウィンドウに貼り付け、エレメントを強くこすりおとしてください。
 - フィルムをはがした後はエレメントの給電部に触れないでください。皮脂により給電部がさびて性能が低下する恐れがあります。
 - 貼付完了後には柔らかい布等で上から押さえつけるように加圧してください。このとき、エレメント部を拭くような行為はやめて、押さえつけるだけにしてください。



アンテナケーブル⑭をフィルムアンテナ⑬給電端子に取り付ける

1 アンテナケーブル⑭の給電端子の突起部を、フィルムアンテナ⑬エレメントの給電部に取り付ける。

給電端子のはくり紙をはがし、エレメント給電部の▲印とケーブルの給電端子突起部を合わせて貼り付けます。（下記はアンテナケーブルの給電端子と、フィルムアンテナの給電部を拡大したものです。）



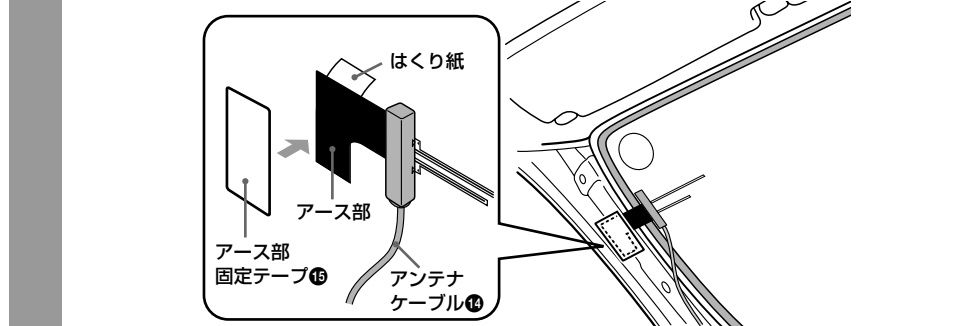
アンテナケーブル⑭のアース部を貼り付ける

1 アンテナケーブル⑭のアース部のはくり紙をはがして車体の金属部へ貼り付ける。

車体の金属部の塗装を削る必要はありません。また、サイドウィンドウにアース部がみえる場合は、折り曲げてフロントビラー内部に収まるよう市販のテープなどで固定してください。

2 アース部固定テープ⑬のはくり紙をはがしアース部の上から貼り付けて固定する。

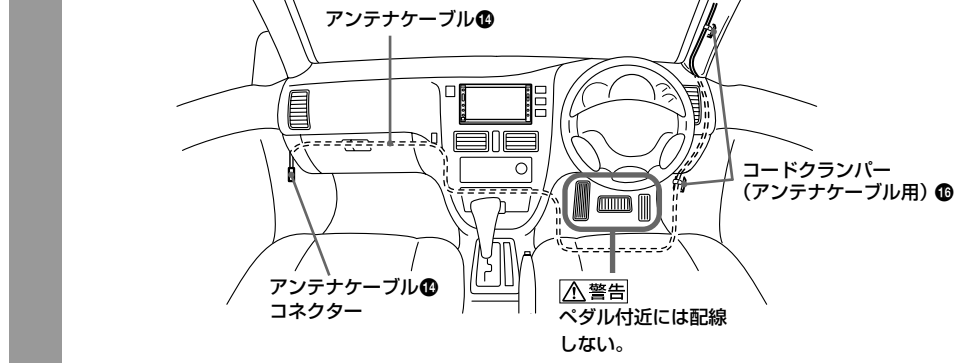
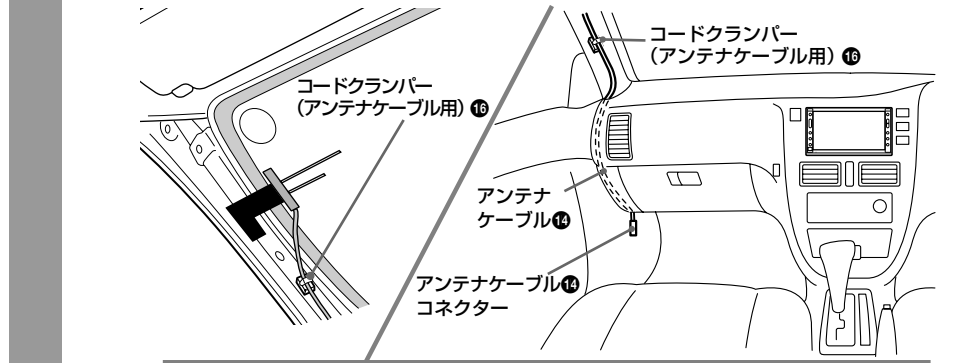
金属部への接触が不十分ですと受信性能が低下する恐れがありますので、必ず付属のアース部固定テープ⑬でしっかりと固定してください。



アンテナケーブル⑭を車に配線する

1 コードクランパー（アンテナケーブル用）①でアンテナケーブル⑭を固定しながら配線する。
フロントビラーを取り付けた際にコードをかみ込まない位置に配線してください。

△警告
コード類は運転操作の妨げにならないようテープなどでまとめてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付かないようにしてください。



2 フロントビラー（内張り）を元に戻す。

本機①に接続する

1 アンテナケーブル⑭コネクターを本機①のアンテナ入力1とアンテナ入力2に接続する。
表面の「**2**接続する」を確認してください。

7 取り付けと接続が終わったら

1 取り付けや接続に誤りがないか、各コードは確実に接続されているかを、もう一度確認する

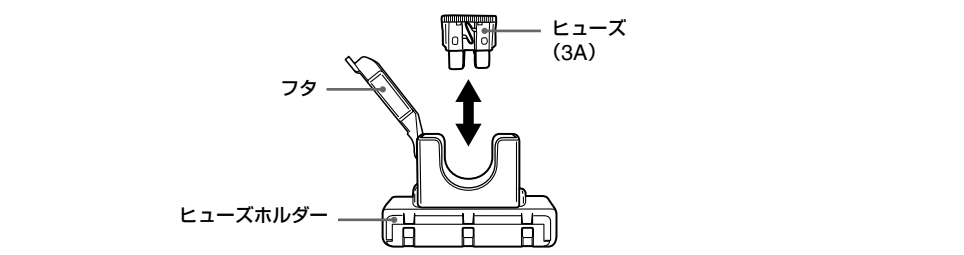
2 ブレーキランプやライト、ホーン、ウィンカー、ワイパーなど、すべての電装品が正しく動くことを確認する

3 本機が正しく動作するか確認する

接続関係のご注意

ヒューズの交換について

電源コードの中間にあるヒューズが切れたときは、配線などをチェックして必ず原因を確かめ、適切な処置をしてください。その後、規定容量（アンペア数）のヒューズと交換してください。



故障かな？

接続関係に誤りがあると、以下の不具合が出ることがあります。表面の「**2**接続する」に従って、正しく接続されているかもう一度ご確認ください。

症状	原因・処置
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none">● DINケーブルまたは、電源コードが正しく接続されていない。● アース用コード（黒色）、アクセサリ電源用コード（赤色）が正しく接続されていない。● ヒューズが切れている。→ お買い上げ店にご相談ください。● イグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。● 車のバッテリーが正しく接続されていない。
地上デジタル放送が映らない。	<ul style="list-style-type: none">● フィルムアンテナのアンテナケーブルと地上デジタルテレビチューナーが接続されていない。→ 「6 フィルムアンテナを貼り付ける」を参照し、アンテナケーブルと地上デジタルテレビチューナーを接続してください。● パーキングブレーキコードと車両側のパーキングブレーキスイッチコードが接続されていない。→ 接続してください。● 他の機器との接続を確認してください。● 機器の入力設定を確認してください。
雑音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">● アース用コード（黒色）が正しく接続されていない。● 他の機器との接続を確認してください。
雑音が入る。	アンテナ入力ケーブルや電源コードなどの各コードは、できるだけ離して取り付け、設置してください。
地上デジタル放送が受信しづらい。	<ul style="list-style-type: none">● フィルムアンテナのアンテナケーブルのアース端子が、正しく取り付けられているかを確認してください。● 車種によっては、電波を通さないガラスを使用している場合があります。→ くわしくは、お買い上げの販売店にご相談ください。● 車が地上デジタル放送を受信しにくい場所を走行している<ul style="list-style-type: none">― ビルとビルの間を走行または停車している。― 上空を飛行機が通過または樹木の密集した場所を走行している。― 送電線の付近を走行している。― 山かげや木立ちの影など樹木の密集した場所を走行している。― トンネルや鉄橋を走行している。― ラジオ放送、アマチュア無線局の放送アンテナの近くを走行している。― 高圧線、ネオンサイン等の近くを走行している。― 自動車、バイクが近くを通過している。

主な仕様

フィルムアンテナ部

電源電圧：DC 8V
消費電流：35mA以下
利得：10±2dB
周波数範囲：470～770Hz
受信チャンネル：UHF (13ch～62ch)
出力インピーダンス：75Ω